

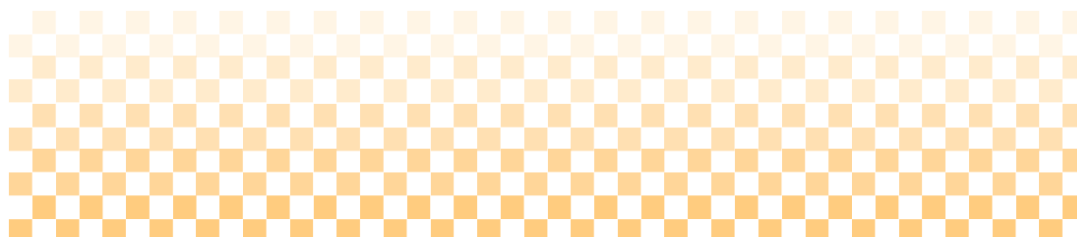


## 公募推薦早期対策講座 英語

---

2023年6月

講師：藤田 健（代々木ゼミナール）



①公募推薦

☆1 解答形式 全問マークシート

☆2 問題構成 大問3つ

[Ⅰ]長文読解 空欄5問、下線言換5問、内容一致5問

[Ⅱ]文法語法 空欄5問

[Ⅲ]英作表現 空欄6問、語句整序3問(完全解答)

☆3 オススメの解く順番 [Ⅱ]→[Ⅲ]→[Ⅰ] (先に知識問題片づける!)

Ⅱ すぐに意味をとろうとせず下線付近だけ見て解けないかチェック!

問1 Both players and supporters got ( ) during the game.

- ① excite ② excited ③ exciting ④ to excite

☆4 感情表現は、人が主語なら-ed、物が主語なら-ingが原則

例 I am bored. 「私は退屈」 / The book is boring. 「その本は退屈」

I am tired. 「私疲れてる」 / The lesson is tiring. 「その授業疲れる」

I am depressed, 「私憂鬱」 / Rain is depressing. 「雨は憂鬱」

問2 The buses run ( ) twenty minutes.

- ① all ② both ③ every ④ whole

☆5 「every+数+複数名詞」で「〜ごとに、おきに」

例 The Olympic Games are held every four years.

「オリンピックは4年ごとに開催される」

☆6 英語は近い方に影響を受けることが多い。

例1 I went swimming in the river. 「その川へ泳ぎに行く」

例2 I went skating on the lake. 「その湖へスケートしに行く」

問3 I ( ) that she try the restaurant on the corner.

- ① promoted ② promised ③ suggested ④ told

☆7 「嫁亭主」の that 内は「should + 動詞の原形」か単に「動詞の原形」  
(要求、命令、提案、主張)

例1 I asked that he get up early. 「彼が早起きするように私は要求した」

例2 I ordered that she be kind. 「彼女が親切であるように私は命令した」

例3 I insisted that he go. 「彼が行くべきだと私は主張した」

Ⅲ 日本文、英文共に読む必要なし。設問部分だけ追っていく!

歩道にある黄色い線は点字ブロック、<sup>(1)</sup>すなわち視覚障がい者誘導用ブロックと呼ばれています。1960年代に日本の<sup>(2)</sup>発明家によって開発され、岡山市で最初に導入されました。2種類のブロックがあります。1つは「誘導ブロック」です。それには、目の不自由な人たちを道筋に沿って<sup>(3)</sup>導く線上の突起があります。もう1つは「警告ブロック」です。それには丸く盛り上がった点状のものがあ、このタイプは横断歩道と駅のホームの端の近くに見られます。<sup>(4)</sup>点字ブロックは、弱視者が簡単に識別できるように明るい黄色になっています。

The yellow lines you see on sidewalks for people with impaired sight are called tenji blocks, (1) tactile paving. It was developed in the 1960s by a Japanese (2), and first introduced in the city of Okayama. There are two types of block. One is the "leading block." It had linear ridges to (3) the blind along the route. The other one is the "warning block." It has round raised dots, and this type is found at pedestrian crossings and near the edges of station platforms. <sup>(4)</sup>Tactile paving is bright yellow so that people with weak eyesight can recognize it easily.

問1 空欄に入れるのに最適なものを1つ選べ。

- (1) ① and ② or ③ so ④ yet  
(2) ① architect ② composer ③ inventor ④ minister  
(3) ① advance ② guide ③ inform ④ remark

- (1) ①そして ②すなわち ③だから ④しかし (答②)  
(2) ①建築家 ②作曲家 ③発明家 ④大臣 (答③)  
(3) ①進歩する ②導く ③知らせる ④述べる (答②)

問2 二重下線部(a)の内容を表す英文にするために次の英文中の(A)と(B)に入れるのに最適な組み合わせを選べ。

Tactile paving is bright yellow (A) people with weak eyesight (B) easily.

- ① (A) for (B) to recognize them ② (A) for (B) to recognize  
③ (A) to (B) in recognizing them ④ (A) to (B) about recognizing

☆8 so that 名詞 can do 「名詞がdoするために」=for 名詞 to do

例 so that you can win = for you to win 「君が勝つために」

☆9 指示語を指すものを丁寧に考える。they, them は複数形の名詞を受ける

I 空欄と下線部言い換えは先に解く＋内容一致は先に選択肢をチェック

2020 has been a (1) tough year, but if this year's Google Trends tells us anything, it's that people wanted to help, give and learn more than ever before. According to data shared by Google, several search (A) hit an all-time high in searches this year. "How to help" was searched more in 2020 than any year prior, with many wondering what they could do to aid efforts for the Austrian wildfires, "Black Lives Matter", and "the coronavirus". In addition to that, "how to (2) donate" was searched much.

Google also provided answers for expressing (B) this year, with "how to thank" hitting an all-time high. Many were wondering how they could show their appreciation to nurses, doctors, and other essential workers.

注 all time high: 史上最高記録

問 1 空欄(A)～(B)に入れるのに最適なものを選び。

A ① abilities ② decisions ③ prices ④ terms

B ① courage ② gratitude ③ notice ④ pity

A ①能力 ②決定 ③代償 ④用語 (答④)

B ①勇気 ②感謝 ③告知 ④残念 (答②)

問 2 下線部(1)～(2)の意味に最も近いものを選び。

(1) ① confusing ② different ③ hard ④ sharp  
(2) ① approve ② contribute ③ inspire ④ recommend

(1) ①混乱する ②異なる ③厳しい ④鋭い (答③)

(2) ①承認する ②貢献する ③やる気にさせる ④薦める (答②)

問 3 内容と合っているものには①を、合っていないものには②を選び。

(1) According to Google Trends data, many people wanted to know what they could do to help with problems, such as the Australian wildfires and coronavirus.

「グーグルトレンドデータによるとオーストラリアの山火事やコロナウイルスのような問題を手助けするためにできることを多くの人が知りたがっていた。」

(第1段落第1、2文より①)

(2) The passage describes how essential workers want to be more appreciated by many people.

「エッセンシャルワーカーが多くの人にどのように感謝されたいかを本文は描写している」(第2段落第2文より②)

重要熟語 18

- (1) 「～を延期する」(p ) (o )
  - (2) 「～を中止する」(c ) (o )
  - (3) 「～を訪問する、要求する」(c ) (o か u )
  - (4) 「～を着る」(p ) (o )
  - (5) 「(火などを)消す」(p ) (o )
  - (6) 「～を脱ぐ、離陸する、休む」(t ) (o )
  - (7) 「～を迎えに行く、身につける」(p ) (u )
  - (8) 「～を説明する、占める」(a ) (f )
  - (9) 「～を申し込む」(a ) (f )
  - (10) 「do することに慣れている」be (u か a ) ( ) ( )
  - (11) 「～を育てる」(b ) (u )
  - (12) 「～を好む、世話をする」(c ) (f )
  - (13) 「～を取り除く」(g ) (r ) (o )
  - (14) 「～と関係がある」(h ) (s ) (t ) (d ) (w )
  - (15) 「時間をつぶす」(k ) (t )
  - (16) 「(期待など)にこたえる」(l か c ) (u ) (t )
  - (17) 「(過去など)を振り返る」(l ) (b ) (o )
  - (18) 「～をからかう」(m ) (f ) (o )
- 解答
- (1) put off=postpone 動名詞をとることも覚えない
  - (2) call off=cancel
  - (3) call on か upon 「call on か upon 名 to do」で「名に do することを要求する」
  - (4) put on コンタクトレンズは put in contact lenses
  - (5) put out=extinguish an extinguisher は「消火器」
  - (6) take off 「3日休む」は take three days off
  - (7) pick up 「場所へ人を迎えに行く」は pick 人 up at 場所
  - (8) account for There is no accounting for tastes. 「好みは説明できない」
  - (9) apply for apply to 「～にあてはまる」/ apply A to B 「A を B にあてはめる」
  - (10) used か accustomed to doing used to do は「以前 do だった」
  - (11) bring up=raise=rear grow up は「大人になる」/ grow は「～を栽培する」
  - (12) care for Would you care for ～? =Would you like ～? 「～はいかが?」
  - (13) get rid of=abolish=eliminate この of は「奪う」の of
  - (14) have something to do with something が nothing, much, (a) little にもなる
  - (15) kill time (16) live か come up to=meet=satisfy
  - (17) look back on (18) make fun of=make a fool of=ridicule

オススの参考書や問題集とその使い方、学習方法

### ①単語集 システム英単語 BASIC(駿台文庫)

第1、2、3章の語をまずは覚えたい(その後は5章。4章は後回しでよい)。英単語を見て日本語の赤字になっている意味が言えれば OK。最初は上に例文があるのでそれを見ながらテストしていき慣れてきたら例文なしでも言えるかチェックしていく。単語は最重要課題なので一日30分は必ずとる。電車の中でとか毎日単語を見る時間帯を決めて習慣にしておこう。一日で20個覚えて、次の日にその20個を確認しながら次の20個を覚えるという調子でテストをしていく。音声も使った方が暗記しやすいのでスマホを使って耳で発音を確認したい。どうしても覚えにくい単語は何回か書いてみたり、自分で例文を作ったり、その単語から連想するものを書き込んでいこう。

### ②英語長文レベル別問題集 3標準編(東進ブックス)

英語長文レベル別問題集 4中級編(東進ブックス)

「問題を解く→答え合わせをする→構造分析と全訳を見ながらもう一度英文全体を読んでみる(または音源で聴く)→答の語句リストを使って意味が言えるかチェックする」を繰り返す。英語が苦手な人で単語がわからなすぎる人は解答の語句リストのところだけを先に見てから解いてもよい。1つの英文は最低5回、出来れば10回読むこと。3と4がレベルとしては一番近いが、英語を基礎から始めたい人は「英語長文レベル別問題集2基礎編」からスタートしてもよい。

また設問はないがどんどん英文を読みたい人には「速読英単語入門編(Z会)」、「速読英単語必修編(Z会)」がオススメ。英文の次のページに語句リストがあるので先にそれをチェックしてから英文を読み、わからなくなったら右にある全訳を見てよい。じっくり英文を読むというよりは様々なテーマの英文に触れ、長文の中で単語を覚えていくことが大切。必修編が入試に近いレベルだが、基礎から固めたい人は入門編から始めてもよい。

### ③文法 Next Stage 英文法・語法問題 入試英語頻出ポイント218の征服

(桐原書店)

Part1の文法をまずは仕上げる。左が問題で右が解説と答えがある形式になっているが、最初に右の解説や答えを見て構わない。各文法分野でどういう大事なポイントがあるのかをチェックしてしまう。何回か読んである程度頭に入ったと思ったら左の問題を解いて確認してみる。最初は正答率が低くても問題ない。繰り返していくうちに定着することに意味がある。最終的にはPart2の語法やPart3の熟語も覚えてほしいが、今は欲張らずにPart1の文法を固める。